じきないと聞く。

この三月に卒業見込みの女子大

四年制で約八万人、二年制

ない」とする企業が調査対象企業

「女子には投職への昇進の機会が

の五二・三%もあり、「機会があ

子雇用者に占める大卒者の割合は

か就職を希望しているという。女 では十四万人を越え、その八〇%

卒業者は昭和三十年には女子雇用 年を追って増加し、四年制大学の

定年を五十才以下に定めている。 三%にのぼり、うち五割は女子の また男女別定年制のある企業は二 る」としたものを上回っている。

かなり具体的な質問をしたとい 前産後の休暇や育児休暇について

つかるまでの腰かけ位にしか考え 意識も低く、就職を結婚相手がみ 子就職希望者のうち六割までが産 よると、昨年秋、同行を訪れた女 アメリカ銀行の採用担当者の話に うかがうことができる。例えば、 訪問で企業にぶつけた質問からも

に集宝る女子大生は、一般に職業

うである。

方、就職試験を受ける時になって

を楽しむのに忙しそうである。一

いまでは残り少ない学生々活

大きい。

賃金について大卒者男女を比較

広で走り廻わっていた学生たち

したとみえ、ひと頃一張羅の背

るにも拘らず、質金や役職への昇

けた女子に就職する者が増えてい 至った。このように高等教育を受 五十二年には九・四%を占めるに

進の面では男女の差は依然として

大半の男子学生はどこかに内

在り厳しいといわれていたもの

今春大学卒業予定者の就職はか

は年々増え、労働省が昨年十月に

て質問した者には冷やかな眼差がうな企業に限って、「おムコさん

された女子学生の就職は、男子よ 初めて性差別を厭という程味あわ

りも一層厳しいものであった。

七一と年令と共に格差が広がって

るものと予想される。

卒女子の動続年数も次第に長くな 普通になっていく幽勢の中で、大 や中高年の婦人が働くことがごく は僅か三年半というが、既婚者 る。現在大卒女子の平均勤続年数 め、またその六割が既婚者であ に遠し、全層用者の三分の一を占 発表した婦人労働白書によると、

年労働省が 行った調 査によると いる。役職への昇進について一昨

志向の含ざしは、彼女たちが会社

このような女子大生のキャリア

〇とすると女子は九四、四十五才 すると、二十二才では男子を一〇

では男子を一〇〇とすると女子は

終的には希望者の半数位しか就職

言

短時日のあわただしい日程の間に

"目白御殿"を訪れ、田中元

終えて再来日した鄧小平副総理は

注目のカーター・鄧小平会談を

国際的背景であった。

周知のようにソ越条約によって

急に必要とされたのは、ソ越条約

中国にとって、米中正常化が緊

著しい政治的退潮のなかにある。

領は、内政外交の行き詰まりを打

としては、「貴方がやれば私は安

よりうしろから追いかけられてい 以来のインドシナ情勢の急転回に

たからであるが、同時に前方には

首相とねんごろな会談を行った。

この事実は、鄧小平の対日戦略を

的に示す出来事であった。昨

権」
条項入り日中平和友好条約を わが国が歴史の選択としての「嗣 うした非対称性に無自覚なまま、 のような非対称性が存在する。こ に叫ばれようとも、日中間にはこ 同文同種、一衣帯水がいかに声高 を得ない。日中友好が唱えられ、

田中元首相に、なぜ再び会う必要 解出来なくはなかったが、その進 があったのか。しかも大平首相、 立て役者への表放という意味で理 心が同直の手にゆだねられている したのは、日中国交正常化の 問首相との会談時間よりも長 の来日の際、田中元首相と もなかった。 ては外交上の敗北以外の何もので 勝利であり得ても、わが国にとっ 中国にとっては歴史的な外交上の 土俵上で勝負したのであるから、 締結したことは、そもそも中国の

> こうして日中平和友好条約の締結 ざるを得なかったからでもある。 ってソ連と対決する危険を回避せ を得なかったのは、ソ越条約によ 事態を目前にして拱手傍観せざる 義反対を唱えていた中国が、この 倒した。一方、大小の「覇権」主 閉し、ポル・ポト政権を一挙に打 ナムは強硬にカンポジア戦略を設 ソ連にバックアップされたヴェト

築されるのか、廃棄されるとすれ

中交渉時のわが国との約束通り廃 好同盟条約が、果たして過般の日 タイムリミットがあった。中ソ友

を主導しているのはいうまでもな

ある。こうした非毛沢東化の潮流

く鄧小平であるが、今や彼の周辺

して行わなければならないという 助同盟条約の廃棄通告をソ連に対 来る四月までに、中ソ友好相互援

のために不可避の関門になりつつ

今や中国が「四つの現代化」達成

の潮流であり、

「毛沢東批判」は

いっせいに噴き出した非毛沢東化

でもなく昨年十一月中旬を期して 変化が生じている。それは言うま 時に中国国内には決定的な内政的 ように変化しつつあるなかで、同 中国を取り着く国際環境がこの

のであるように私には感じられ おり、こうした鄧小平副総理 の会見を行ったとさえ報じら は、日本国民を愚弄するも に、ソ連を刺激しソ連のアジア戦 にラッシュした。この事実はたん 日中提携を目指して政財界が中国 の友好と団結」をしきりに唱え、 昨夏の日中平和友好条約締結以 方わが国の側は運命共同体的な

鄧小平の巧妙な戦

「反覇権連合の形成」と「四つの現代化」が二本の柱

ばどのような形でそれがなされる

には影賞・元北京市長ら旧北京市

置づけているのかもしれない。そ

Minister と呼んだそうである

れだけに、いますぐ華国峰を失脚

に追いやることの得失について

上の意味を持っているよう思われ が、これはたんなるミステイク以

のか、大いに注目されるところで

あることはいうまでもない。最近

央宣伝部長に新任した胡蠅邦、党 とく復活しているばかりか、党中 党委員会系の実権派勢力がことご

そ中ソ等距離に意を用いてきたヴ たらし、ヴェトナムへの脅威を増 日本の協力は中国の富国強兵をも 約の締結へと踏み切らせた重要な を余儀なくさせ、ソ越友好協力条 の段階でソ連の戦略下に入ること 幅させるからである。このことこ ず、中国の「四つの現代化」への ける今日の中ソ冷戦のなかで、日 トナムにたいし深刻な脅威になっ ず、中越紛争に当回していたヴェ 略を大いに活性化させたのみなら エトナムをして、昨年十一月初旬 ジア戦略を積極化させるのみなら 中関係の強化が対抗的にソ連のア たのである。なぜならアジアにお は、アジアの平和と安定をもたら

> いが、同条約の廃棄は中ン関係を のアジア情勢の変化に鑑みて私は

極限的悪化の状況にいたらしめる

ムバックした姫脳州ら鄧小平系統 魔、党中央対外連絡部長としてカ 中央軍事委員会秘書に新任した耿

界戦略=反「覇権」連合の形成で 方、わが国の側には今日の中国の 明確な医標軸のなかでの相 されている。即ち、その縦軸は世 カーブを太く鋭いものにするため こそ中国の対外行動だといえよ つの現代化しである。この二つの あり、その横軸は国家目標=「四 ような明白な世界戦略も国家目標 には如何なる手段も選ばない。 一つの明白な医標軸のなかで展開 従って、この相関曲線が描く 在していないのであって、わ の対外行動はいきおい出たと

さて、今日の中国の対外行動は

質の受動的なものにならざる

しつつあるばかりか、北東アジア をはかり、わが国を北万から牽制 ロフ、クナシリ両島の軍事基地化 ったが、それに加えてソ連はエト ったわが国外交の大きな誤算があ こにも中国の戦略を読み取れなか させるテコになったのである。こ すどころか、アジアの戦乱を拡大

にかかわらず、「生ぬるい戦争」 うしてわが国は好むと好まざると の戦略拠点を強化しつつある。こ のなかに完全に撥きこまれようと

けなくなるので、中国としてはそ 対中攻撃への国際法上の拘束を受 し、米中関係を強化する必要があ れ以前に米中国交正常化を実現 はだかにすることとなり、ソ連は

ばかりか、中国を安全保障上まる の三中全会で自己批判を余儀なく 及び陳劉聯政治局員ら文革右派の を形成している。こうした状況の されたと伝えられているように、 党官僚及び軍官僚らは去る十二月 なかで、華国鑑主席、汪東興副主席 の有力幹部が非毛沢東化の司令部

しようとし、一方カーター米大統 実現のためにも米国に大きく依存 10 今日の中間が「四つの現代化」

て、自ら国際院総理の地位につく 米に見られたドラマの断面であっ 注目されるとは、今回の鄧小平防 可能性をも残している。この点で

するであろうし、来るべき全国人 も、鄧小平は充分考えた上で行動 民代表大会でまず第一段階とし き大統領選挙で再選されたいとの る。 願望を担言つつあるように思われ の到来として膨歌することによっ 理であって欲しいという、カータ ように思われる。カーターはこう ー大統領の願望が秘められている して米中関係の強化を新しい時代 て、自らの影響力を確保し、来るべ つまり、そこには鄧小平こそ総

る。こうした顧望を実現する相手 入しようとしている姿は誰の眼に も明らかだが、このことは当面、 び、先進的な技術やノウハウを輸

のなかにこれら文章派の将来を位 つあるなかで、皮肉にも彼自身が 東家父長体、制への批判が行われつ 権を完全に子中にしている鄧小平 文革派の志配に関する生殺与等の なってきている。こうしていまや 毛沢東の影におびえざるを得なく 頭してきた。平国鋒は、今日、毛沢 ョンを唯一の政治的資源として台 とくに毛、灰東主席とのコネクシ 中嶋嶺雄 よると、カーター大統領はワシン remierと言わずに総理Prime トンで鄧小平を副総理 Vice-P 持っている。伝えられるところに 保増大につながるという共通項を が、それぞれの政治的影響力の確 項のみならず両者の相互依存関係 とのあいだには、反ソという共通 なく、この点で鄧小平とカーター に依存していることは言うまでも 開するために中国即ち鄧小平戦略 いる。

そも権力継承の正統性が疑われる 兼中央軍事委員会主席という最高 十月七日)に、党中央委員会主席 っかしいことを、米国側は知って 権力を手にした華国鋒では、そも に打ちとったその日(一九七六年 の根拠として「四人組」を一網打尽 心だ」との毛沢東のお墨付を唯一 だけにもの足りなく、しかも危な て、あの<br />
大海原のような中国<br />
長村

との関連の強い戦略的色彩の濃い は決してないのである。つまり、 社会が一挙に現代化されることで ものである。 「四つの現代化」は中国内政外交 ところで中国 0

「四つの現代

カ及び西欧など西側先進諸国に学 化を焦眉の急として日本やアメリ の合理化も含まれている。毛沢東 り、そこには企業管理やマネージ えるべきであろう。まず第一に必 しい立ち遅れに気付き、その現代 いる中国が、これらの問題での著 神話の時代から脱却しようとして メント及び組織・機関のシステム みても、この優先順位は逆にとら 要なことは科学技術の現代化であ また当面の中国の必要性に照して 論理学の逆説性に照してみても、 科学技術となっているが、中国的 までもない。「四つの現代化」の 優先順位は、農業、工業、国防、 が、その鄧小平にとって最大の問 演技者であると言わねばならない って必要なリーダーであり、且つ 成功するか否かであることは言う 題は「四つの現代化」が果たして それだけに鄧小平こそ米国にと しか持たない中国にとっては、正 に見積って三一四○億ドルの外貨 善という「ソ連カード」が最後に 義化」しているのである。こうし って、中国は徐々に「現代修正主 回復もすでに実現しているのであ は、中国のフルシチョフ、といわ に天文学的な数字である。やかて 残されていることを、われわれは れた彭徳懐らの復権もしくは名誉 を続けるのであろうか。内政的に は果たして今日のような対ソ対決 国が当面必要とするノウハウやプ ないが、これらの数字は、おおめ る。中国は一九八五年までに約五 大な資金が必要だと推計されてい ドルないしは六千億ドルという巨に実現するためには、四千五百億 た文脈において、 れることになったとき、そして中 中国がそうした債務の返済を迫ら 西側諸国から輸入しなければなら 〇〇億ドルに近いプラントなどを 化しが、今日のヴィジョンどおり 中国には中ソ改

忘れてはならない。 (東京外国語大学教授)

## 80年代の女性と職業

たそのような企業ほど優秀な女子うな企業側の姿勢に対するキャリ

者に共通してみられたという。ま ずに働かせる企業に集まった希望 のキャリア志问は、女子を差別せ には身をのり出すという女子大生 向けられ、育児休暇に関する質問

反映しているに選いない。このよ

卒女子職員に対する彼らの態度を

の口から出るというが、これは大 ですよ」という揶揄が採用担当者 を探すつもりでウチに来ても駄目

甘えやめて多様な人生設計

うなところも珍しくはなかったて業よりもむしろ同性に対する批判 が殺到し、競争率三百倍というよア志向の女子大生の反応には、企 他方、女子を補助的に使う企業 がこめられており、ある学生は、

ついていた。 言われてしまうのです」と溜息を する人がいるからそういうことを 「結婚相手をみつけるために就職なかには、い心の近代的なオフィ

をしない者論外だが、 く暮すつもでいる者もいる。 給料を貰ていながら禄に仕事

に何の疑問し抱かない者もいる。

婚にあると、結婚退職すること

を がいるかとうだば、女の幸せは結 岩男寿美子 スであってはならない。

育」と明記されていたのである。 経歴をつづったものには、「一九 知られるジュディ・ゲラーの腹壁 コミュニケーション研究者として 六〇年から六六年までは一児を養 書である。彼女が研究者としての

また働くの公当然と考えている音 子と全く同じレベルで働きたい、 らないときている者、或いは出 身を通すか強しても子どもは作 就職希望の今大生といってもさ 壁の一時期。除いては定年まで男 まむまで、事を優先させ一生独 時に希望者が再就職できる環境づ が大きくなって母親の手を離れた すべきではない。問題は、子ども 自分の意志で退職する女性を非難 う。だから、出産や育児のために 可能性を失ってはならないと思 は現在手にしている多様な役割の 本来、一時期專案主婦(夫)と プラスでこそあれ、決してマイナ は、ひとりの人間の一生のなかで くりと個人の意志と訓練である。 て育児や地域活動に専念すること た。だから、職歴と並んでそれな も、研究者としての彼女に新しい とは異質のものではあったけれど ら研究に従事していた時期のそれ とである。 視野を開かせた貴重な時期であっ したことは、家庭の外にあって専 りの評価をされて当然、というこ

> 可能になるような環境づくりと訓 させようとする人には戦線復帰が

線を考え、また特に悪い労働条件

の下で働いている女子には本人の

というような柔軟な対応が望まし 選択次第で保護規定を適用する、 らはずして充分に能力が発揮でき

るようにし、子育てと仕事を両立

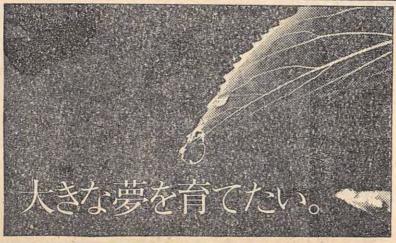
えば、家庭よりも仕事を優先させ

るグループは労基法の保護規定か

それにつけても思い出すのは、 おばつかないだろう。 される。三食昼寝つきの生活をし 育児期間以前に既に優れた業績が 究者として一線に復帰するには、 いうかなり長い育児期間の後に研 てしまっては一線復帰はとうてい 児期間中のたゆまぬ努力が必要と 蓄積されていたことに加えて、 グラー夫人のように、六年間と いと思う。

考えたうえで、適切な対策を講じ 人生設計に応じて多様な可能性を 私は、八〇年代の女子の鋭職は 毎女性に道を開くことにはならないま職を求めている女子大生や中 いま職を求めている女子大生や中 いて、理想論ばかり並べても、企 女性の社会進出の歴史の浅い日本 業の費同は得られまい。そのうえ 男女差別の撤廃や女子の就職につ では、大多数の女子の要求や意識 先に述べたような職場における 義整大学教授)

産業からご家庭まで安定した長期資金を供給 することによって、明日のゆたかな社会づくりに 貢献しています。



高利回りの1年貯蓄



店/東京都千代田区九段北1-13…--- 102 公263-1111 本 店/札 幌・仙 台・東 京・新 宿・横 浜・金 支 松・福 名古屋・京 都・大 阪・梅 田・広 島・高